

UBE ビエンナーレ リニューアルのお知らせ

NEWS UBE 宇部市 UBE BIENNALE
未来を彫刻するまち UBE International Sculpture Competition

お問い合わせ
宇部市文化振興課
(山口県宇部市常盤町一丁目7番1号)
TEL: 0836-34-8562
FAX: 0836-22-6083
Email: museum@city.ube.yamaguchi.jp

野外彫刻展が変わります

野外彫刻展「UBE ビエンナーレ」は、まちの美化と心の豊かさを求める市民運動を契機として、1961年に「第1回宇部市野外彫刻展」として始まり、2年に一度のビエンナーレ方式により開催を続けてきました。

本市では、野外彫刻展60周年を迎えた第29回展終了後から、持続可能な実施に向けた検討を開始しました。令和5年度には「これからのUBE ビエンナーレを考える市民ワークショップ」を開催し、市民の皆様と課題を共有し、様々なご意見をいただいたほか、運営委員や出展作家をはじめとする関係者の方々の意見も伺ってきました。また、第30回展に向けては、ギネス世界記録の認定やオープニングイベントのアウトソーシングなど、今後のあり方を考えるための新たな施策にも取り組み、課題の解決に向けた検討も進めてきたところです。

節目となる第30回展の開催を終え、今後も長く市民に愛され、多くのアーティストが参加し、県内外の来場者でにぎわう野外彫刻展であるために、2025年度以降の野外彫刻展を以下のようにリニューアルします。



1. 検討の経緯

1. 市民等からのご意見

令和5年6月から9月にかけて「これからのUBE ビエンナーレを考えるワークショップ」を実施し、UBE ビエンナーレのあり方、存在意義、持続可能性について市民の皆様から様々なご意見をいただきました。

また、出展作家、運営委員・選考委員からの意見聴取や、市民アンケートも実施し、UBE ビエンナーレには広報宣伝、会期中の盛り上がり、子どもたちへの教育、作品の設置・メンテナンス費用について不足しているという意見が多くみられました。



2. 運営面での問題

- ・情報発信やプロモーションのための準備期間の確保
- ・野外彫刻展の魅力向上や改善を図るための時間の確保
- ・本市独自の彫刻教育や普及事業の充実
- ・買取作品の設置場所の選定や予算の確保
- ・修復や定期的なメンテナンスなど、適切な維持管理

3. アウトソーシングの評価

30回展ではオープニングイベントを含むPRをアウトソーシングにより実施したことで、職員のマンパワーを彫刻展の運営に集中させることができました。

また、ギネス世界記録認定の効果もあり、UBE ビエンナーレの認知度向上や県外からや若い世代の誘客につながりました。しかしながら、PR準備期間が十分であったとはいえ、今後、PR効果を向上させるためには、より戦略的な準備が必要であり、一定の期間を要すると思われまます。

2. 課題の整理

上記関係者の意見や運営面での問題を踏まえた課題を右の4点と整理し、今後も持続可能な彫刻展とするためには、現行スケジュールの大幅な見直しが急務と判断しました。

- 1 広報 (PR) の充実
- 2 市民の彫刻展 (彫刻) に対する理解の深化
- 3 彫刻展の魅力向上
- 4 予算 (資金) の確保

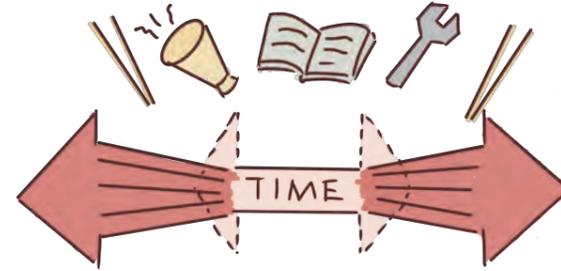
3. 今後の方針

今後も持続可能な彫刻展として維持していくために、開催間隔を現行の2年に1回から3年に1回とすること、また、これに併せ、名称の変更を行うこととします。

リニューアルのポイント

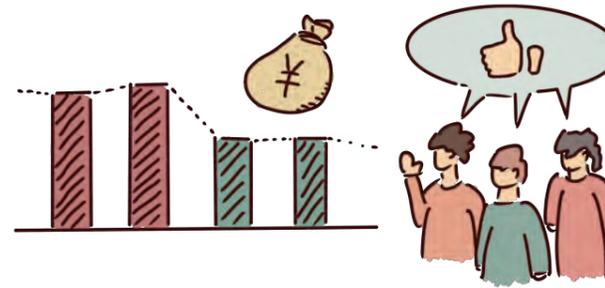
1 準備期間を長期に確保できます

本展開催までの準備期間を確保でき、広報 (PR)、教育普及、彫刻維持管理業務が充実



3 資金的な負担を長期的に抑制します

収蔵作品の増加と資金的な負担を長期的に抑制



2 作品設置期間を長期に確保できます

作品設置期間を1年長く確保でき、運搬や移設に係る費用の軽減、より丁寧な移設計画の遂行及び返却を受ける作家の負担軽減



4 ロゴデザインが新しくなります

名称変更に伴うデザインの刷新により新たな彫刻展としてのイメージ構築



4. 今後のスケジュール

